

ながさき農林業グリーン化総合対策事業

- ・「みどりの食料システム戦略」で、2050年までに化学肥料の使用量の30%低減や化学農薬使用量（リスク換算）の50%低減、CO2のゼロエミッション化等を目指すとしたところ。
- ・環境保全型農業を推進するために、県は「長崎県環境負荷低減事業活動の促進に関する基本的な計画」を策定し、より一層の推進を図ることとしている。

事業内容

1. 環境保全型農業の取組推進に資する農業機械等の導入

(1) 化学肥料低減型

側条施肥機等の化学肥料低減に資する農業機械等の導入

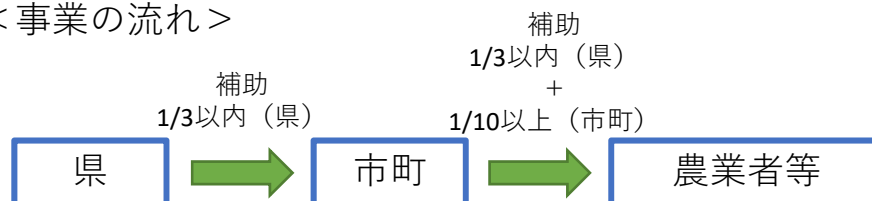
(2) 化学農薬低減型

水田除草機等の化学農薬低減に資する農業機械等の導入

(3) 燃油低減型

ヒートポンプ等の燃油低減に資する農業機械等の導入

<事業の流れ>



イメージ

<背景>



EU：
「Farm to Fork戦略」



アメリカ：
「農業イノベーションアジェンダ」

- ・農業の環境負荷軽減に関する 国際情勢の変化
- ・農林水産業や地域の将来も見据えた 持続可能な食料システムの構築が急務

<目指す姿>



側条施肥機



堆肥散布機



水田除草機



自動抑草機



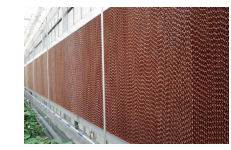
超音波防虫装置



UV-B照射装置



ヒートポンプ



パット＆ファン

環境保全型農業の取組推進へ
(化学肥料・化学農薬・燃油の低減)